

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	文化祭開催事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	03	3節 学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）		主管課	生涯学習課			
施策	3-4	ながれやま市民文化の継承と醸成		主管課長	中西 直人			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市民	意図	市民の芸術文化等の創造活動を奨励し、その成果を発表する機会を提供することにより、芸術文化の普及と高揚を図る。
事業内容	①実行委員会への補助金支援を行う。 ②文化協会加盟団体及び美術家協会による実行委員会を組織し、「発表」「作品展示」「各種行事」の三部構成で開催する。			
事業開始から現在までの状況変化	・補助金額は、平成17年度まで162万円、平成18年度から145万円、平成24年度から130万円へ減額。 ・平成21年度からは文化祭オープニングセレモニーを行っている。 ・本事業は平成22年度から芸術・文化振興事業から独立した。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	参加者数（発表など）	7,097	7,135	7,507	人	→→
②	観覧者数	7,330	6,786	6,196	人	→→	
③							
④							
⑤							
⑥							

指標で表すことができない定性的な成果

目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）
前年度と比較すると参加者数が増、観覧者数が減。

事務事業のコスト	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事務事業の総コスト(a=b+c)	1,437,300	1,434,240	1,431,840
事業費(b)(円)	1,300,000	1,300,000	1,300,000
うち一般財源	1,300,000	1,300,000	1,300,000
職員給与費(c)(円)	137,300	134,240	131,840
人役・職員(人)	0.02	0.02	0.02
人役・再任用(人)			
人役・臨職(人)			
人役・嘱託(人)			
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）			
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）			

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	文化団体が実行委員会を組織し、平成30年10月21日から11月25日まで文化祭を開催する。長期にわたる開催に一体感を持たせるため昨年同様オープニングセレモニーを企画する。	③取組における課題(Check)	様々な団体の発表の場となっており、参加者・来場者の年齢層の幅を拡大させ、また増加させるための工夫が望まれている。
②H30に実施した取組(Do)	日頃の団体活動の成果を発表する場と、広く市民に文化芸術に触れる機会を提供した。	④課題に対する今後(H31~)の改善計画(Action)	参加型を取り入れるなど、マンネリ化を防ぐ工夫を考えていく。